

イエス・キリストの系図

マタイの福音書 1章 1-17節

はじめに

先週から、クリスマスを待ち望む「アドベント（待降節）」に入りました。クリスマスは、「Christ」（キリスト）と「Mass」（ミサ、礼拝）という言葉が組み合わされた言葉です。その意味で、クリスマスの本質は、「キリストを礼拝すること」にあります。

そこで今日は、クリスマスの主役であるイエス様の系図に目を留めたいと思っています。新約聖書を初めから読もうとすると、誰でもこの系図を見てうんざりします。おそらく多くの人は、このイエス様の系図は軽く読み流して、18節からじっくり読み始めるのではないかと思います。しかし今日は、このうんざりする系図に改めて目を留めて、神様の恵みを読み取っていきたいと思います。

1. 約束の子孫としてのイエス・キリスト

まず始めに 1 節には、「**アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図**」とあります。このイエス様の系図は、イエス様が「アブラハムの子」であり、「ダビデの子」であるということを示すために書かれた系図なのです。

(1) アブラハムへの約束

「アブラハム」というのは、イスラエル民族の「父」と呼ばれる人で、イスラエル民族はこの「アブラハム」から始まったのです。神様は、このアブラハムに一つの約束を与えられました。それは、創世記 12：1-3 に書かれています。「**あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される**」。また創世記 18：17-18 にも、こう書かれています。「**確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星、海辺の砂のように大いに増やす。あなたの子孫は敵の門を勝ち取る。あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる**」。

神様はアブラハムに、アブラハムを祝福してアブラハムを通して大いなる国民を作ること、そしてアブラハムの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けると約束されました。

ですからこの系図は、イエス様こそ、アブラハムに与えられた「約束の子孫」であり、イエス様こそ、地のすべての国々を祝福する「アブラハムの子孫」であるということを示

そうとしているのです。

(2)ダビデへの約束

また「ダビデ」というのは、イスラエル民族の歴史上、最も偉大な王様です。神様は、このダビデにも一つの約束を与えられました。それは、Ⅱサムエル記7：12-16に書かれています。「わたしは、あなたの身から出る世継ぎの子をあなたの後に起こし、彼の王国を確立させる。彼はわたしの名のために一つの家を建て、わたしは彼の王国の王座をどこしえまでも堅く立てる。わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。…あなたの言えとあなたの王国は、あなたの前にとこしえまでも確かなものとなり、あなたの王座はどこしえまでも堅く立つ」。

神様はダビデに、ダビデの子孫を通して、どこしえまでも堅く立つ王国を確立させると約束されました。そしてこの約束にある「ダビデの子孫」は、人々の間で次第と「メシヤ」「救い主」と理解されるようになっていきます。

この系図は、イエス様こそ、ダビデに与えられた「約束の子孫」であり、イエス様こそ、永遠の王国を確立させる「ダビデの子孫」であり、「メシヤ」「救い主」であることを示そうとしているのです。

2. 系図の歴史と現実

またこの系図は、17節にあるように、アブラハムからイエス様まで「十四代」ずつ、三つの時代に分けられています。

一つは「アブラハムからダビデまで」の「十四代」、二つ目は「ダビデからバビロン捕囚まで」の「十四代」、三つ目は「バビロン捕囚からキリストまで」の「十四代」です。

(1)上昇・下降・沈黙

一つ目の「アブラハムからダビデまで」の時代は、イスラエル民族が成長した時代です。「アブラハム」というひとりの人から始まったイスラエル民族は、「ダビデ」という王様を立てる一つの王国にまで成長したのです。

しかし二つ目の「ダビデからバビロン捕囚まで」の時代は、イスラエル民族が墮落した時代です。この時代に書かれている名前は、すべて王様の名前です。「ダビデ」以降の王様は、中には神様に従った王様もいましたけれども、多くの王様は神様に背き、結果として王国は衰退し、最終的にバビロン王国に滅ぼされてしまいました。

そして三つ目の「バビロン捕囚からキリストまで」の時代は、イスラエル民族が忘れ去られた時代です。この時代に書かれている名前は、ほとんど聖書にも出てこない人たちの名前です。イエス様の父となる「ヨセフ」は、「ナザレ」という田舎町の貧しい大工です。

このように、アブラハムからイエス様までの系図は、最初は成長して栄えただけども、次第に墮落し、衰退し、ついには人々から忘れ去られるような状態にまでなったのです。そしてイエス様は、そのように人々から忘れ去られるような状態の中でお生まれになった

のです。

(2)4人の女性

「アブラハムからダビデまで」の時代は、確かに成長した時代でしたけれども、注意深く見ると、決して純粋に清い時代ではありませんでした。

この時代の系図に、4人の女性の名前が出てきます。ひとり目は、3節に出てくる「**タマル**」です。この人は、義理の父と寝て、子どもを産んだ女性です。二人目は、5節に出てくる「**ラハブ**」です。この人は、「遊女」、つまり「売春婦」でした。三人目は、同じ5節に出てくる「**ルツ**」です。この人は、イスラエル民族に加わってはならない「モアブ人」でした。四人目は、6節に出てくる「**ウリヤの妻**」です。この人は、「バテ・シェバ」という名前で、ダビデと姦淫を犯した女性です。

このように、イエス様の系図は、決して純粋に清い系図ではありませんでした。成長したと言われる時代にさえ、いくつもの罪が入り込んでいる系図でした。そして神様に背き、墮落して、ついには人々から忘れ去られるような系図でした。

しかし神様は、そのような系図の中でも、決してアブラハムに約束し、ダビデに約束したことを忘れ去ることなく、「約束の子孫」であり、「メシヤ」「救い主」であるイエス・キリストをこの世に生れさせられたのです。

おわりに

私たちは、このイエス様の系図から一つのことを教えられます。それは、神様は約束を忠実に守られるということです。神様は、御自身の言葉で約束されたことを、必ず実現されるということです。

神様の約束は、決して人間の罪の現実には負けることはありません。神様は、人間の罪の現実を越えて、いやむしろ、それさえも益と変えて、またそれさえも用いて、確実に約束を実現されるのです。

神様の約束は、目に見える状況に左右されません。目に見える状況が全く前に進んでいないように見えても、いやむしろ、目に見える状況が悪くなっているように見える時でも、神様は生きて働いて、確実に約束を実現されるのです。

たとえ、人々が神様の約束を忘れ去ったとしても、神様は決して御自身の約束を忘れ去ることはありません。神様は確実に約束を実現されるのです。

神様は私たちにどんな約束をしてくださっているのでしょうか。

私たちが試練の中にいる時は、次のような約束をしてくださっています。「**あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます**」(1コリント 10:13)。

またこうも約束してくださっています。「**神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがっ**

て召された人々のためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています」
(ローマ 8:28)。

また神様は、私たちが家族の問題で苦しんでいる時には、次のような約束をしてくださっています。「**主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます**」(使徒 16:31)。

このように神様は、聖書の言葉を通して、私たちの様々な状況における約束を語ってくださっています。しかし私たちは、目に見える現実の中で、神様の約束が信じられなくなってしまう時があります。目に見える現実が、なかなか改善されなくて、むしろ悪いほうに向かっているように感じる時は特にそうです。

しかし聖書は、「**望みえないときに望みを抱いて信じる**」(ローマ 4:18)ことこそ、「信仰」だと言います。また「**望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させる**」(ヘブル 11:1)ものこそ、「信仰」だと言います。

「信仰」がなければ、私たちにとって、目に見える現実だけがすべてです。しかし「信仰」は、目に見える現実の中で、私たちに希望を与えてくれます。たとえ目に見える現実が、罪に満ちていて、なかなか前に進んでいるように見えなくても、神様の約束に目を向けるなら、私たちは希望を持つことができます。もし目に見える現実だけがすべてであつたら、私たちは失望するしかありません。しかし私たちには、目には見えないけれども確かに生きておられ、約束の実現に向かって確実に働いておられる神様がいます。

罪と墮落の歴史の中でも、アブラハムに与えられた約束を忠実に守り、ダビデに与えられた約束を忠実に守られて、イエス様をこの世に生まれさせられた神様は、私たちへの約束も忠実に守ってくださるのです。

天におられる私たちの父なる神様。

あなたは目には見えない方です。しかしあなたは確かに生きておられ、全世界を支配し導いておられる方であると聖書に教えられています。あなたは御言葉で約束されたことを、必ず実現される方です。あなたは約束されたことを必ず守る方です。

私たちは、目に見える現実に関心が奪われて、あなたの約束を見失います。どうか私たちが望みえない時にこそ、信仰を働かせて、あなたの約束を信じることができるようになります。望みえない時にこそ、信仰による希望を与えてください。

この祈りを私たちの救い主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。